

## 2 目標達成計画

作成日: 平成24年 3月23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	現在の運営理念が分かりづらい。	増床に合わせ、職員も増員。 あらためて、職員と運営理念について話し合う機会をつくり、職員だけでなく関係者(利用者さん、ご家族、地域住民のみなさま)に分かりやすい内容を考えていく。	・職員会議の場で、グループホームについて見直す機会をつくる。 ・運営推進会議の場で、参加者のご意見を聴く機会を設ける。 ・文章だけでなく、図式化するなど分かりやすい内容にする。	3ヶ月
2	33 (12)	重度化や終末期に向けて、職員の認識が不十分である。	利用者さん一人ひとりの既往歴を理解するとともに、内服薬についても知識を深める。 主治医や看護師とも情報交換を密に行う。	・「主治医意見書」だけでなく、利用者さん一人ひとりの既往歴・現病歴・内服薬について勉強する。 ・通院時やご家族の面会時など、利用(入居)前の様子などを聞き取る機会をつくる。 ・それらの情報を共有できるように、職員間で報告・連絡・相談を徹底する。	6ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。